



CharityWalk
in YOKOHAMA

開催報告書

ヨコハマ  プロジェクト

April 25
2015
山下公園

目次

はじめに

イベントのコンセプト

イベント概要

コミュニケーションツール (広報用)

コミュニケーションツール (説明資料)

当日の様子

会場図

7つの訴求点

歩いてつながる

ワークショップでつながる

使ってつながる 等

まとめ

参加者の声

ご協力いただいた皆様

寄付総額

終わりに





開催地となった横浜・山下公園。ゴールデンウィークともなると、世界への玄関としての歴史を持つ港風景を楽しもうと、連日、数万人が同園を訪れます。

私たちは、この山下公園で「**多様性を互いに認め合う**」イベントのチャリティウォーク
インヨコハマを開催しました。



イベントのコンセプト

「つながることで、多様性を互いに認め合う」



- 目的 : 一般市民、障がいのある人との交流機会
障がいのある人と同じ体験をし、その能力や特性を知る

- 日 程 : 2015年4月25日12:00～15:00

- 場 所 : 山下公園



- 参加数 : 600名以上。神奈川・東京を中心に、東北、北関東、中部、関西からご来場。主な参加者は、ダウン症のある人とその家族、友人。ダイバーシティに関心のある社会人・学生・ボランティア。

- 実施内容 : 公園内約 1 kmを歩くほか、つながるフォト等の 8 つのおたのしみ企画を実施

- 後 援 : 外務省、tvk (テレビ神奈川) 、FMヨコハマ、関東学院大学、横浜市健康福祉局、(福)横浜市社会福祉協議会、日本遺伝看護学会、(公財)日本ダウン症協会、NPO法人アクセプションズ(順不同)

- 参加費 : 無料

コミュニケーションツール (広報用)

紙媒体



ネット系



- 毎日新聞 3月12日 朝刊
- 読売新聞 4月23日 夕刊
- tvk 「ありがとう」知育コーナーの「まんまるマルタ」
4月30日

当日の様子

-会場図

-7つの訴求点

着てつながる

歩いてつながる

映ってつながる

ボランティアでつながる

使ってつながる

ワークショップでつながる

使ってつながる

ファンディングでつながる

等



ワークショップ以外にも！

お楽しみが盛りだくさん！

1 **ファミリーフォト撮影**

協力：フォトグラファー集団 SAMURAI FOTO



- 「つながるTシャツ」をご家族でご購入頂いた特典として、ファミリーフォトをご撮影致します。
- ※ご希望の方には受付時に整理券をお渡しします。 ※50組限定

2 **手話でコミュニケーション！**

協力：関東学院大学 福祉研究部

- 手話によるコミュニケーションを体験できます。ベビーサイン、手話の基本を楽しく学びましょう！
- ※広場2番にて



3 **ス** **しとり芝居 おはなしピエロ**

協力：パフォーマー「コナサ」



- お芝居ワークショップ
着づけばあちゃんも不思議な世界の一部
※受付後～13:00 ※広場3番にて
- しとり芝居「私の赤い靴」
演劇に選んだ少女が売ったものとは？
※14:50～ ※ステージにて

4 **ス** **ジャグリング**

協力：慶徳義塾大学ジャグリングサークル (B-Wing)



- ワークショップでジャグリングの基本にチャレンジ！
※一度に25人まで
※広場4番にて
- パフォーマンスを披露！
※14:40～ ※ステージにて



9 **セラピードッグ**

協力：NPO法人 日本アニマルセラピー協会



- 優しいワンちゃんに触れ合ってみませんか？
- 人が元気を取り戻すことができるような特別な訓練を受けた、とても穏やかに優しいワンちゃん「セラピードッグ」が来てくれます！

● パフォーマンス ● ワークショップ

● サービス提供

※交流スポット：各地からお越しの皆様にご交流いただくコーナーです

ワークショップなどなだでも参加いただけますが、一度の入場料に利用がある場合がございます。詳しくはお電話までご確認ください。

5 **ス** **チアリーディング**

協力：横浜国立大学 チアダンス部



- ぼんぼんを使って、チアの基本ポーズをマスターしよう！
※受付後～13:00 ※広場5番にて
※一度に30人まで
- パフォーマンスを披露！
※14:30～ ※ステージにて

7 **アロマハンドケア**

協力：アロマ研究会 大倉山スイミー



- 脚がいのある方がセラピストとして活躍する「スイミー」のご協力により、心地よいアロマの香りにつつまられたハンドトリートメントを体験できます。
- ※1部10分 ※広場7番にて ※人数限定

6 **絵本を楽しもう！**

協力：絵本提供 (株)好学社
読み聞かせ アナウンサー 絵本セラピスト 辻原麻里子



- 自由に絵本を手にとって楽しんでいただけます。読み聞かせもあります。
- ※無料オープン ※広場6番にて
※読み聞かせは全3回
①12:30 ②13:45 ③14:50

8 **アートポストカードを作ろう！**

協力：ドリームエナジープロジェクト



- 型と色鉛筆を使って、オリジナルのカードを作ってみよう！自由にアートを楽しんでみませんか？
- ※無料オープン ※一度に8人まで
※100人限定 ※広場8番にて

チャリティウォークにおける「7つのつながり」

着てつながる

東北の福祉施設で作られた手作りの「レッドラインTシャツ」を着てつながりました。



歩いてつながる

イベント参加者との会話を楽しみながら、山下公園 1 Kmを歩きました。



映ってつながる ボランティアでつながる

家族というかけがえのないつながりを1ショット写真におさめました。



学校・企業をはじめ、多くの協賛団体様にイベント運営ボランティアとしてつながっていただきました。



使ってつながる

イベントで使うお手玉を地元ヨコハラの福祉施設が特別製作。華麗なパフォーマンスを盛り上げてくれました。



ワークショップでつながる

イベントに設けられた9つのワークショップは、協賛団体様に企画段階から協力いただき、当日も多くの参加者の皆さまに楽しんでいただきました。



ファンディングでつながる

イベント運営資金面でも、多くの皆さまとつながれるよう、クラウドファンディングを実施しました。



レッドラインTシャツ



チャリティウォークでは、「身にまとうことが表現につながる」イベント用記念Tシャツとして、equalto様のレッドラインTシャツを採用しました。

「障がいのある人の個性を活かしながら、誰もがいきいきと働くことができ、経済的にも自立可能な社会を実現する」というequalto様の目標や、商品そのもののデザインコンセプトに共感したからです。

東北の社会福祉法人円（まどか）様で製造されたレッドラインTシャツをチャリティウォーク参加者の方々が着ることで、参加者同士だけでなく、つくる人と、着る人がつながりました。



ダウン症と一緒に歩むチャリティウォーク in 横浜(4月25日(土))とダウン症児が出演の映画:『カフェ・ド・フーリエ』がきっかけで人生が変わりました

患者様とレッドラインでつながった
小児科医師



開催前からご家族で、レッドラインでつながり始めたお母様



当日参加できなかった方からいただいた「つながる」応援フォト



仕事場のサロンでユニフォームとして着てくださっています

「一緒に歩いて、一緒に笑いました」



今回のイベントにはご家族での参加者が多くいらっしゃいます。お子さん、きょうだい、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、ご親戚、など。

チャリティウォークでは、家族の姿をとらえる「ファミリーフォト」企画を、Samurai foto様ご協力のもと実施しました。



小さなお子さんを撮るとなると、カメラの方に顔を向いた瞬間をうまくとらえられるかがとても重要です。

そこで、企業ボランティアの皆さまが大活躍。あの手この手で、お子さんの関心をひきながら、「はい、ポーズ」。ファミリーフォトを通じ、たくさんの笑顔に出会えました！



ボランティアでつながる

チャリティウォークの盛り上がりを支えてくれたのが100名を超えるボランティアの皆さまです。

混雑が予想される、本部受付対応も、NPO法人アクセプションズ様をはじめ、多数の企業ボランティアの協力を得たことで、大きな支障もなく受付を進めることができました。

イベントのメインアクティビティとなるウォーキングや、参加者で輪につながるフォト撮影においても、ボランティアのご協力のもと、誘導、安全確認、応援を行いました。

受付ボラ運営マニュアル

受付ボラ運営マニュアルの概要は以下の通りです。受付ボラ運営マニュアルは、受付ボラの役割と責任を明確にし、スムーズな受付運営を実現するための重要なツールです。

受付ボラ運営マニュアルの目次

項目	内容
1	受付ボラの役割と責任
2	受付ボラの役割と責任
3	受付ボラの役割と責任
4	受付ボラの役割と責任
5	受付ボラの役割と責任
6	受付ボラの役割と責任
7	受付ボラの役割と責任
8	受付ボラの役割と責任
9	受付ボラの役割と責任
10	受付ボラの役割と責任
11	受付ボラの役割と責任
12	受付ボラの役割と責任
13	受付ボラの役割と責任
14	受付ボラの役割と責任
15	受付ボラの役割と責任
16	受付ボラの役割と責任
17	受付ボラの役割と責任

来場者数が天候に左右されやすい屋外イベントであったため、分野別の運営マニュアル整備やボランティアの方々と、事前の分担確認打合せ実施。当日の運営では、ボランティアの皆さまが臨機応変に動いて下さったことで、大きな支障なく、受付運営を実施することができました。



ウォーク運営マニュアル

ウォーク運営マニュアルの概要は以下の通りです。ウォーク運営マニュアルは、ウォークのルートと注意事項を明確にし、スムーズなウォーク運営を実現するための重要なツールです。

ウォーク運営マニュアルの目次

項目	内容
1	ウォークのルートと注意事項
2	ウォークのルートと注意事項
3	ウォークのルートと注意事項
4	ウォークのルートと注意事項
5	ウォークのルートと注意事項
6	ウォークのルートと注意事項
7	ウォークのルートと注意事項
8	ウォークのルートと注意事項
9	ウォークのルートと注意事項
10	ウォークのルートと注意事項
11	ウォークのルートと注意事項
12	ウォークのルートと注意事項
13	ウォークのルートと注意事項
14	ウォークのルートと注意事項
15	ウォークのルートと注意事項
16	ウォークのルートと注意事項
17	ウォークのルートと注意事項





米国のドラマ「Glee」で一躍有名になったダウン症のあるチアリーダー、ベッキー。ベッキーにあこがれチアリーダーを目指す女子はすくなくありません。

今回、地元の市立東高校チアダンス部約50名がチャリティウォークへ参加協力しただけのこと。

そこで生まれたワークショップ企画が「ぽんぽんを使ってチアの基本ポーズをマスターしよう！」です。

このワークショップで必要となる数十組のぽんぽん。その制作を引き受けてくださったのが地元のNPO法人「まどか わーくす太尾」様です。

イベント当日、チア50名と50組の「ぽんぽん」をあつらえたワークショップは、小さなお子様からティーンエイジャー、お父さん、お母さんまで集まる超大人気のワークショップとなりました。



ワークショップでつながる

チャリティウォークでは、ご協力者様のサポートのもと、ワークショップを通じ参加者とつながりました。

アートポストカード



NPO法人ドリームエナジープロジェクト様のご協力により、「カード作り」ワークショップを開催。

ボランティアの方にサポートしてもらい、たくさんのお子もたちがカード作成を楽しみました！

ボランティアの事前
打合せ →

絵本



絵本セラピストの近藤麻智子様と絵本出版会社の好学社様のご協力により、大型絵本読み聞かせ会を開催。

大人も子ども気に入った絵本を自由に手にとりながら、絵本の世界を楽しみました！



手話



関東学院大学手話サークルのみなさんによる「手話でつながろう」。ベビーサインや手話に、参加者のみなさんもちよこっと触れてみました！

おはなしピエロ



パフォーマー Kochisa様によるひとり芝居。ヨコハマプロジェクトメンバーのママパパ友コーラス部隊の協力のもと、書下ろし脚本「私の赤い靴」をパフォーマンスいただきました！

セラピードッグ



日本アニマルセラピー協会様のご協力により、ひよりちゃんと、福介君の2匹のドッグが参加。大人から子どもまで、やさしく賢いドッグ達とふれあいました。



アロマハンドケア



大倉山スイミー様のご協力により、アロマハンドケアを実施。

ダウン症のあるセラピストさんの腕前に、ケアを受けるママたちもオドロキ。その姿は、一つのロールモデル（参考となる働く姿）になったかもしれません！

ジャンボ シャボン玉



子どもたちに大人気のシャボン玉。見ているだけで、楽しくなるような風景にたくさん出会いました。

着ぐるみ



会場には、横浜市様、ファンケル様のご協賛により、2人の着ぐるみが登場。会場を盛り上げてくれました！



開催地山下公園といえば、首都圏有数の大道芸メッカ。

そこで、着目したのがジャグリングです。

横浜市にキャンパスを抱える慶応大学ジャグリングサークル I-Wing様に協力依頼したところ、OKの返事。

次なる課題は、ジャグリングに必要なお手玉80個を集めることです。しかも、握りやすさを考慮すると、充填率も考慮したやや緻密な制作が求められると。

この大量かつ高品質なお手玉制作を急きょ引き受けてくださったのが、地元の福祉法人「ぴぐれっと」様です。

イベント当日、手品師のお兄さんにジャグリングを教えてもらう子どもたちの姿は、とてもほほえましく感じられました。

そして、イベント後半で行われたI-Wingによるパフォーマンスは圧巻でした！



イベント運営資金面でも、多くの皆さまとつながれるよう、クラウドファンディングに取り組みました。



クラウドファンディングページ開設

これからお母さん、お父さんになる人に、「ダウン症」のことを知っていただく趣旨で、クラウドファンディングページを開設

当事者インタビュー実施

ご支援へのご理解をいただくために、ダウン症のあるお子さんをお持ちの保護者10人にインタビューを実施

趣旨レター作成

クラウドファンディングに取り組む理由を、周囲の方へお伝えするためのレターを作成。またご説明に伺うことも

応援者の皆さまからのメッセージ

皆様からいただいた温かいメッセージを一層のはげみに、準備に取り組むことができました

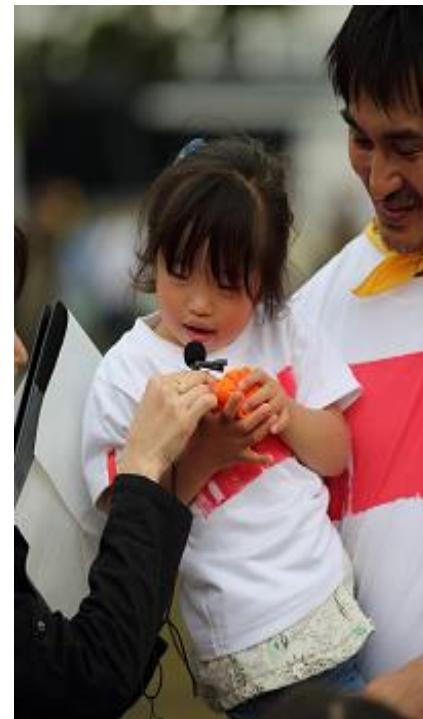


ご寄付いただいた皆様へ
Thank You Cardと参加体験記
をお送りさせていただきました

アワード

つながったことを感謝を伝えたくて、ささやかなアワードを開催しました。

プロアナウンサーの長谷部真奈見様による進行のもと、アワードを開催しました。その一部をご紹介します。



「遠くから参加したで賞」

東北地方から関西地方までたくさんの地域の皆さまにご来場いただきました

「素敵なものを制作したで賞」

ワークショップで使用する道具を一つ一つ丁寧に制作してくれました

「お誕生日を迎えたばかりで賞」

イベント開催日という記念すべき時に誕生日を迎えました

まとめ

参加者の声
寄せられた声
アンケート結果

ご協力いただいた皆様

寄付総額

終わりに



一般参加者

- 息子がとても楽しんでましたので、また機会あれば参加します！
- "やることに意義がある！
すごいことだと思います。息子はシャボン玉に大興奮で楽しんでいました。Tシャツすごく素敵でした！親子4人同じ物をきたことなかったのでもいい体験でしたよ〜"...ありがとうございます！パールックも流行ってますし、次回も沢山の方に着てもらえたら嬉しいです。
- 今回、大阪より参加できて 本当に良かったです！開催してくださって ありがとうございます。
- 東北より団体で行きました。都会での暮らしにはびっくりしました。私たちの地元では、どこに行くにも車を使いますが、横浜では、地下鉄に乗り、エスカレーターに乗る。障がいのある人の生活も全然違うんですね。私たちも、住んでいる地域にいただけじゃなく、もっともっと外の世界をみようと思いました。
- 娘がチアリーディングを習っているので、チアのワークショップ目的で来場しました。でも、絵本のブースの紙芝居や読み聞かせもとても喜んでました。
ダウン症の子供たちの楽しそうな笑顔を間近で見て、来年は是非Tシャツを着てウォーキングにも参加したいと思いました
- "当日は4歳と8カ月の子ども、そして夫とともに、主に絵本のコーナーに参加させてもらいましたが、息子はシャボン玉に、絵本に、ジャグリングに夢中になっていました。また、そこにはダウン症の子供達もたくさんいて、一緒に遊んでいました。
私は絵本コーナーで、企業からのボランティアとして参加された方とお話したり、通りかかった小さい子供連れの方とお話したり、とても素敵な時間を過ごすことができました。...私自身、仕事やボランティア活動を通して、障害のある方と長く関わっていますが、今回のイベントのように、誰もがすぐそばにいる違いを受け入れることができるようなオープンで親しみやすいイベントに参加させてもらったのは、初めてです。私達家族にとって、とても、有意義で貴重で素敵な時間でした。

協賛団体様

関東学院大学様より

4月25日（土）関東学院大学の学生たちが、横浜市中区の山下公園で開催された「チャリティウォーク イン ヨコハマ」にボランティアスタッフとして参加しました。

横浜初となるこのチャリティウォーキングイベントは、ダウン症のある方々と一緒に「歩く」ことを通して、相手の存在や能力など「多様性」をお互いに認め合うことを目的としています。当日は、ダウン症のある方やその家族だけではなく、全国から約600名もの方がイベントに参加しました。

参加者は、就労継続支援事業所のスタッフが一枚一枚デザインした「つながる T シャツ」をそれぞれ着て、ウォーキングコースの山下公園内を一周します。コースの中間地点やゴール終盤地点では、ボランティアで参加した学生たちがプラカードを持ち、楽しむ参加者に声援を送りました。

またウォーキングの他にも絵本の読み聞かせやジャグリング体験、障がいのある方がセラピストを務めるアロマハンドケアのワークショップなど多くのアクティビティも実施。手話のワークショップを出店した関東学院大学福祉研究部部長の須古井稜太さん（文学部3年）は「言葉ではなく手話を通して相手と気持ちが通じ合った時が一番嬉しいですね。普段このようなかたちで子どもたちと接する機会はなかなか無いので、今回このイベントに参加して直に反応を感じることができ、とても貴重な経験になりました」と、子どもたちとの触れ合いを振り返りました。

日本アニマルセラピー協会様より

ダウン症のお子様やご家族を支援する団体、ヨコハマプロジェクト様主催のチャリティウォークに参加いたしました。昨年11月に葛西臨海公園で開催されたイベントが横浜でも実施され、支援や普及の輪が広がっているのを実感します。

セラピードッグは、ゴールデンのひより、コーギーの福介が参加、ブースでの触れ合いやお子様たちとのウォーキングを頑張ってくれました。関東学院大の学生さんがボランティアでお手伝いいただき、一緒に歩いてくださいました。ありがとうございました！これからもセラピードッグがみなさまの力になれるよう、支援を続けていきたいと思っております。

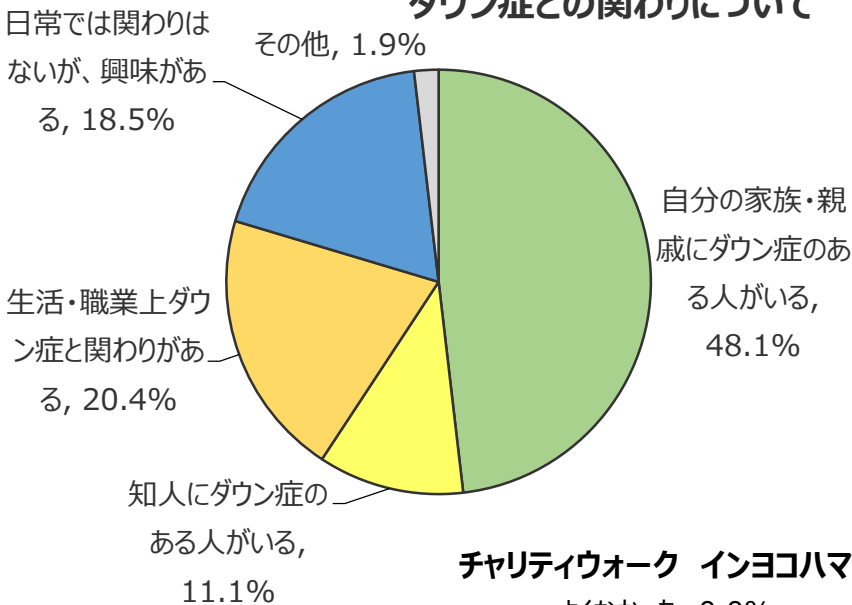
ボランティア

- 本当にお疲れ様でした！...
とってとっても、いいイベントでした、・・・、準備から何から並大抵な とではなかったと思います！ほんとにすごいです！何より、ダウン症の小さい子を持つご家族がたくさん参加されていて、きっとみんなひとりじゃないんだ、つながってるんだと、心強く思えたと思います！"つながる事で新しい色々なものが生まれていくの見て感じて、「つながる」って本当に素晴らしいなと、私たちも思いました。次回はもっとたくさんの方とつながれたらと思います！
- 本日は貴重な経験をさせていただきありがとうございました。
あまりお役には立てませんでしたが、楽しかったです...
子供達の笑顔や、ボランティアの方々の一生懸命さが伝わってきてウルっとしてしまいました。また、少しでもお役に立てることがありましたらご連絡下さい。
本当にありがとうございました。"
- 最高にピースフルなイベントでした。素敵な時間を過ごすことができ感謝しております。
- 大変お世話になりまして、誠にありがとうございました。一言で申せば、「実に楽しい1日でした！」・・・プロジェクトの皆様の事前準備が完璧であったからだと思います。我々は、それに単に乗っかる形でしたので、精神的にも楽しむ余裕がありました。そして、企画も多様性があって参加者の満足度を満たす充実した内容でしたね。どの企画も参加者の目が輝いていましたよ。というわけで、次回も参加させて頂き、楽しみたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

アンケート結果 参加者の方

参加者の約半数が、当事者家族で、約半数がそれ以外の方でした。
6割が「ダウン症のある人や家族との交流」を期待し参加されていました。

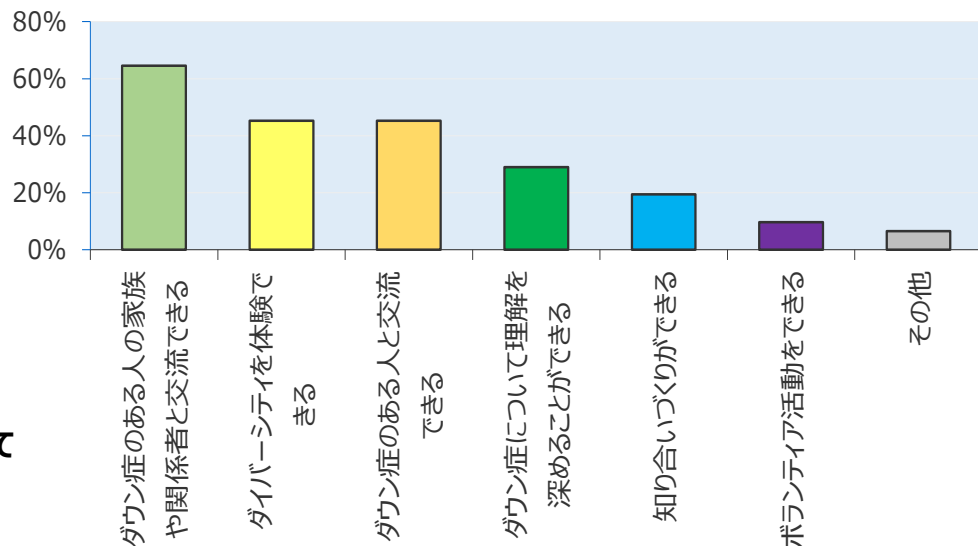
ダウン症との関わりについて



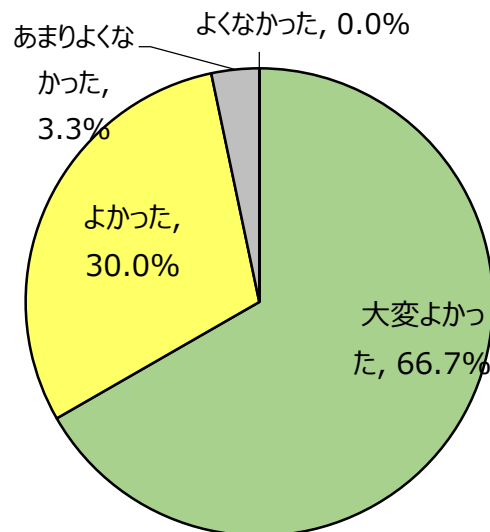
(有効回答数 106件)

チャリティウォークインヨコハマへの参加理由

複数選択



チャリティウォーク インヨコハマについて

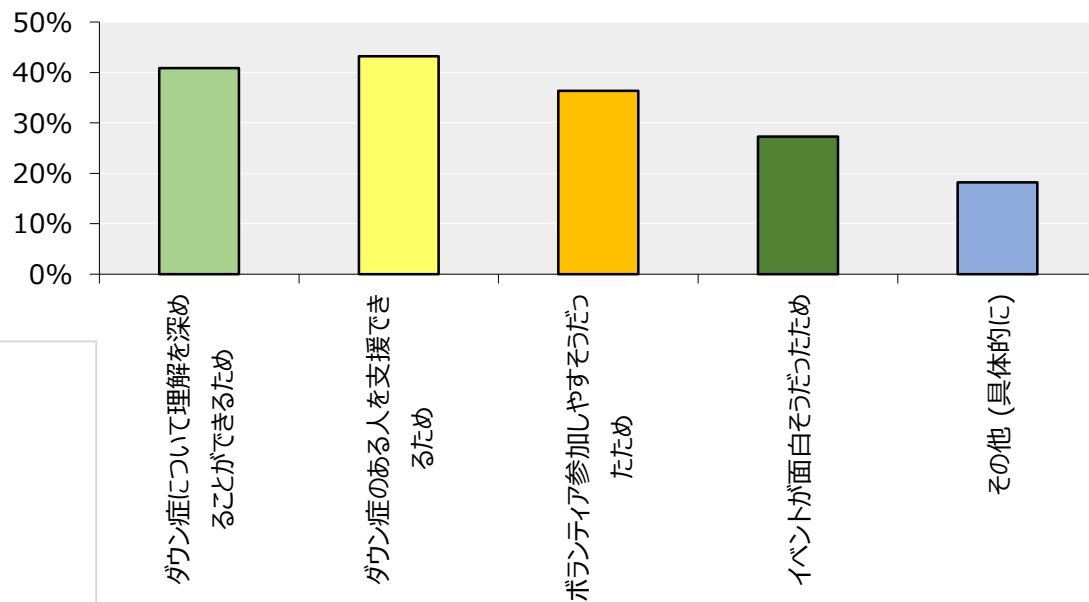


アンケート結果 ボランティアの方

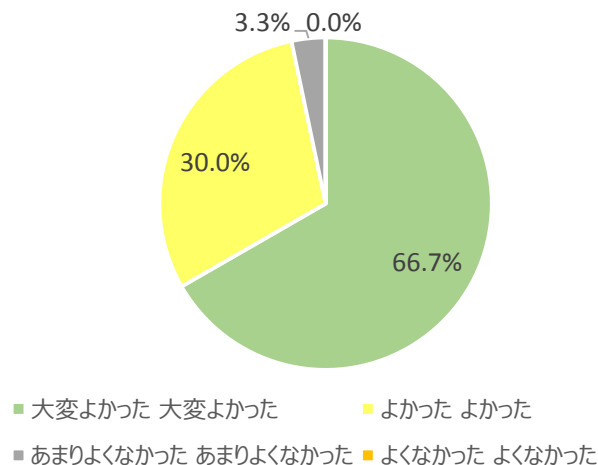
ボランティア参加の理由として、「ダウン症についての理解を深めること」「ダウン症のある人を支援できること」「ボランティア参加しやすそうだった」を約4割の方が選んでいます。

(有効回答数 45件)

チャリティウォークインヨコハマに対するボランティア参加の理由 複数選択



チャリティウォークインヨコハマについて



ご協力いただいた皆様

協賛

(順不同)



※その他にも、クラウドファンディング他を通じ、ご支援を賜りました全ての皆様に心から感謝申し上げます。

後援

(順不同)

外務省 / 横浜市健康福祉局 / (福)横浜市社会福祉協議会 / 日本遺伝看護学会 / (公財)日本ダウン症協会 / NPO法人アクセプションズ / tvk (テレビ神奈川)



Fm yokohama 84.7

協力

(順不同)

株式会社ビローズ / NPO法人まどか わーくす太尾 / 社会福祉法人びぐれっと / アロマ就労自立支援 大倉山スイミー / フォトグラファー集団 SAMURAI FOTO / 鶴見おひさま学童クラブ / NPO法人ドリームエナジープロジェクト / 横浜市立東高校チアダンス部 / 慶應義塾大学ジャグリングサークル「I-Wing」 / NPO法人日本アニマルセラピー協会 / アナウンサー・絵本セラピスト 近藤麻智子 / ひとり芝居パフォーマー KŌCHISA / equalto produced by Accenture



現在の達成金額	235,000 円
目標金額	200,000 円
スポンサー募集終了まで	終了しました
支援した人数	28 人

✓プロジェクトが成立しました！
このプロジェクトは 2015年4月20日(月) に成立しました。



総額 ¥ 265,205 円

寄付金は、チャリティウォークインヨコハマ開催運営費に充当しました。
ご寄付くださった皆様、ありがとうございます。





**チャリティウォーク イン ヨコハマ 2015を無事開催させていただきましたこと
心よりお礼申し上げます。**

**今後も、本イベントを継続開催していく所存です。ご協力・ご声援いただければ
うれしいです。**